

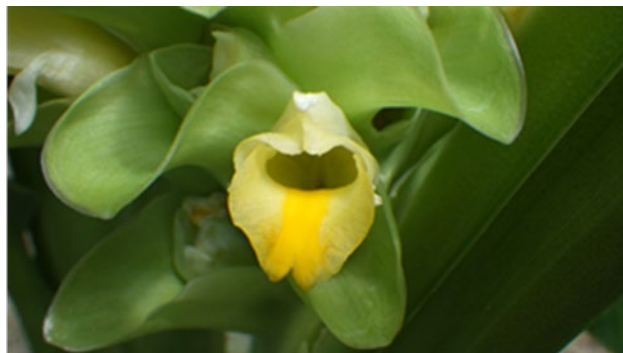
薬用植物園だより

2023年

8月

カレー粉原料、ターメリック。漢方では塗り薬！

ウコン (ショウガ科)



Curcuma longa Linné.

部位	根茎
生薬名	鬱金 (ウコン) 局方収載
成分	クルクミン (黄色色素)、 α -ツルメロン
薬理	利胆作用、芳香性健胃
薬能	駆瘀血薬
漢方	中黄膏

熱帯アジア原産の多年草。草丈は2mほどになることもあり、8月～9月ごろに30cmほどの穂状花序から3cmほどの黄色の花を咲かせます。寒さに弱く当園では、冬越しが難しいため、掘り上げて温室で保存します。しかし沖縄では家庭菜園でも栽培され、うちん茶などに使われます。本植物の根茎は、スパイスのターメリックとして有名ですが、医薬品としては、芳香性健胃薬として胃腸薬などに配合されています。また、いわゆる「健康食品」と呼ばれるものも多くの商品が開発、販売されています。漢方薬では赤みのある湿疹、腫れや捻挫などに外用される中黄膏 (ちゅうおうこう) に生薬・オウバクとともに配合されています。紫雲膏 (しうんこう) とともに江戸時代の医師、華岡青洲が創製した漢方の外用薬として有名です。

チョウセンアサガオ (ナス科) **(有毒)**

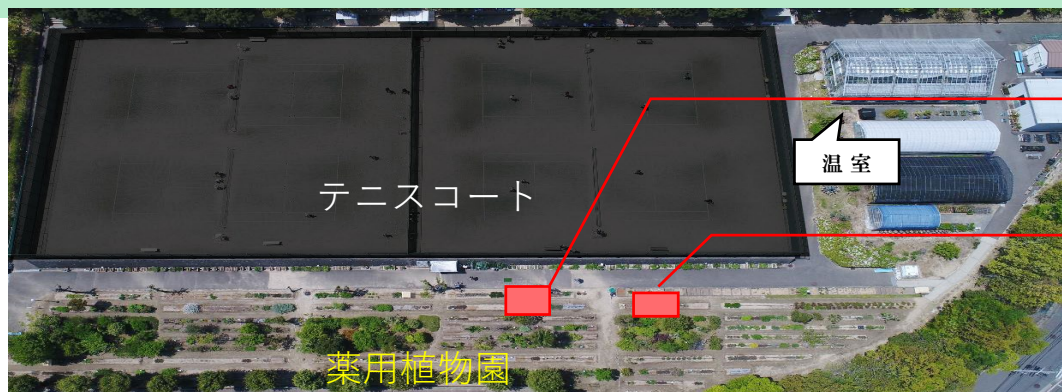
医薬の歴史に名を遺す花。誤食注意！

Datura metel L.

部位	葉、種子
生薬名	曼荼羅華 (マンダラゲ)
成分	スコポラミン (-)-ヒヨスチアミン (ラセミ体: アトロピン)
薬理	副交感神経抑制作用、中枢神経興奮後に抑制
漢方	使用されない



インド原産の一年草もしくは多年草。夏から秋にかけて大きな白い花を咲かせます。日本でも広く分布しています。華岡青洲は本植物を中心に、ヤマトリカブト、ヨロイグサ、マムシグサなどの薬草を配合し、通仙散 (別名: 麻沸散) という麻酔薬を作り、世界初の全身麻酔による乳がん手術を成功させました。現在では、本植物の誤食による食中毒事例がたえません。最近では、花をサラダにした事件が報告されているようです。誤食すると、瞳孔拡大・頻脈・幻視・意識障害等の症状を呈します。全草が有毒です。植物に触れた手で目を擦らず、また、決して口には入れずに注意して観察しましょう。



チョウセンアサガオ

ウコン



ホームページでも
ご覧いただけます